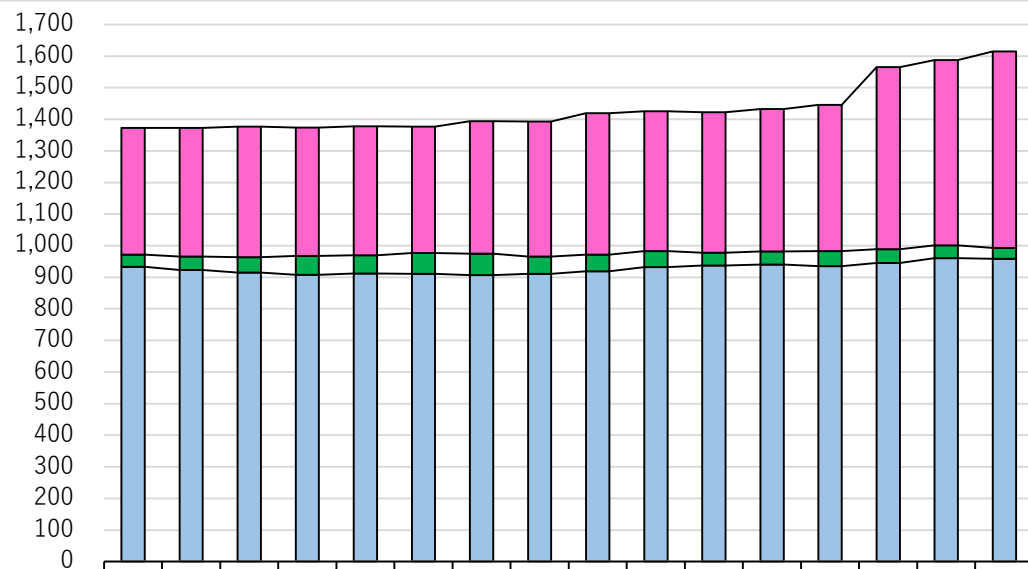


令和5年度からの定員管理について

定員管理の見直しについて

本市ではこれまで、常勤職員の数値目標を定め適正な定員管理に取り組んできたところですが、令和5年度から、地方公務員の定年が段階的に引き上げられることとなったことをはじめとした今後の定員管理を取り巻く課題を踏まえ、数値目標に代わる基本的な考え方を示します。令和5年度から令和14年度までの10年間について、「基本的な考え方」に沿って定員管理に取り組みます。

定員管理にあたっては、小平市DX推進方針、小平市人財育成基本方針及び小平市特定事業主行動計画（HAPPYこだいら）と連携しながら取り組みます。



職員数の推移

定員管理を取り巻く課題

①2040年頃を見据えた対応の必要性

→全国的に少子高齢化が進展する中、特に若年層の減少により人材の確保が厳しくなります。また、扶助費の増大や将来的な人口減少に伴う税収の減少が見込まれ、経常経費である人件費を抑制する必要性があります。

②職員の働き方等への対応

→定年引上げによる高齢期職員の活躍維持や、子どもを産み育てやすい職場環境の整備など多様な働き方の推進が求められています。

基本的な考え方

自治体経営方針に基づく質的・量的な行財政改革を推進しながら、時代に適合する持続可能な組織体制を構築することを目指し、

○時代環境に対応した職員体制の構築

○計画的な職員採用により年齢構成の平準化

を基本的な考え方とします。

これまで、上限人数を設定してきましたが、今後は基本的な考え方のもと、財政状況を考慮しながら定員管理に取り組みます。

具体的な取組事項

【課題①への対応】AI、RPA等行政のデジタル化推進、会議合理化、ペーパーレス化等に取り組み、自動化・省力化を図ることでより少ない職員で効率的に事務を処理する体制を構築します。また、事務事業の見直しやアウトソーシングの推進により、行政の役割を見直します。

【課題②への対応】高齢期職員の能力・経験を活用できる配置や、会計年度任用職員の適正配置、専門人材や労働者派遣の部分的活用を図るとともに、働き方改革の推進や職員の研修施策の充実等により組織全体の活力を維持します。また、管理職削減や適時の組織再編等により簡素で効率的な組織を整備します。